

令和6年度 兵庫県立猪名川高等学校 学校評価アンケート結果

評価 4(とてもあてはまる) 3(あてはまる) 2(あまりあてはまらない) 1(あてはまらない)

評価項目	重点目標	担当部署	具体的取り組み	生徒	保護者	教員	全体	総括(成果及び課題)
安全・安心して地域に信頼される学校作り	地域や関係機関との連携を密にし、安全、安心して地域、保護者、生徒の期待に応える信頼される学校を目指す。	総務・学年・生徒指導・保健	① 学校HPの充実に努め、迅速に学校の情報を保護者や地域に発信し情報共有を行っている。	3.0	2.6	2.8	2.9	各行事等が実施される度に迅速に学校HPに掲載し情報発信を行うことができた。今後は多くの方々に見てもらえるよう、HPのより見やすい紙面作りが必要と思われる。
		総務・教務・進路指導	② 行事や公開授業などを保護者に案内し、教育活動への理解を図っている。	3.1	2.7	3.4	3.0	体育祭や文化祭などの行事については、今年度も保護者の参加数が多かった。今後はその他の行事についても参加していただけるよう積極的に案内をしていきたい。
		学年	③ 三者懇談や家庭訪問、個人懇談を行い保護者と連携している。	2.8	2.6	3.3	2.8	各学年の担任は、生徒1人1人丁寧に複数回面談を行うことができた。今後は長期休業中を利用するなどして保護者のニーズに応えられるようなさらなる面談の充実を図っていきたい。
		総務・教務・進路指導・進路指導・生徒指導	④ 生徒が地域でボランティアなどで活動する仕組みを整え、猪名川町関係機関と連携している。	2.6	1.9	3.1	2.4	各種委員会による多くのボランティア活動を実施することができた。特に猪名川町関係のイベントにおいて生徒がボランティア活動を積極的に行った。
		生徒指導・学年・保健・いじめ対応チーム	⑤ 医療機関やキャンパスカウンセラーをはじめ関係機関と連携を図り、安全、安心な環境を整えている。	2.9	2.5	3.2	2.8	各学年の担任は、生徒1人1人丁寧に複数回面談を行うことができた。また、キャンパスカウンセラー、保護者と教員がこれまで以上に情報共有を行い、より適切な生徒支援ができるようにしていきたい。
基礎学力の定着と進路実現	基礎・基本的な知識や学力の定着を図るとともに、主体的に考え、正しく判断し、行動できる力を育成し、生徒一人ひとりの夢・目標の実現を支援する。	教務・進路指導・教科・学年	⑥ 公開授業や研究授業、研修等を通して、教師自ら学び続ける姿勢を持ち教材の精選や指導方法の改善に努めている。	3.1	2.4	3.2	2.9	これまで授業改善の方法等様々な研修を実施したことによって、授業において様々な工夫をすることによって生徒にとってわかりやすい授業をすることができた。今後は研修等で学んだことを生徒への指導により一層生かしていきたい。
			⑦ 各教科において高校3年間で生徒が到達すべき目標を明確にし、シラバス及び年間計画を設定し生徒に周知している。	2.9	2.6	2.7	2.8	学習指導要領の改訂にともない、教科の目標や観点別評価などの情報を生徒により分かりやすく伝えるようにしていきたい。
			⑧ 少人数指導、習熟度別学習指導や補習、課題等を通して「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の定着や基礎学力・技能の向上を図っている。	3.1	2.5	2.7	2.9	少人数授業や習熟度別授業を多く取り入れ、生徒1人1人に対してきめ細かな指導を実施できている。今後は生徒の基礎学力をより向上させるための指導の工夫を行っていきたい。
			⑨ 「他者との対話」を中心とした授業や課題解決等に取り組む授業を実施し、学習意欲の高揚や学習習慣の定着を図っている。	3.2	2.4	3.0	3.0	多くの授業において、グループワークを通して様々な人の意見を交換したり、自分の考えを発表する機会を多く提供することで、生徒の学習意欲の向上につながっている。今後は、生徒の学習習慣のいっそうの定着を図ってきたい。
			⑩ ICTの活用技術を向上させ、授業の中で活用している。	3.6	2.1	3.7	3.2	BYODが導入され3年目になり、全生徒のICT活用能力が高まっている。今後は生徒のICT機器活用能力のいっそうの向上を目標に全教科で取り組んでいきたい。
			⑪ 生徒が主体的に自己の進路について考え個性に応じて進路を選択できるよう、自己理解の促進や進路学習などに取り組んでいる。	3.2	2.7	2.9	3.0	進路指導部や各学年において、計画的に多くの時間を設定し、外部講師による講話や進路関係のホームルームを実施できた。今後は生徒が自己の適性を正確に把握し、自己の進路を選択できるようにしていきたい。
			⑫ 学習支援アプリなどを活用し、生徒に振り返りを促し、自己理解や学習習慣の定着について指導をしている。	2.4	2.3	2.9	2.4	多くの授業で学習支援アプリを活用し、生徒の主体性を伸ばすことができた。今後は、家庭学習においても生徒が主体的に学習支援アプリの活用を定着を図り、学習意欲を高めるよう指導を行っている。
			⑬ 各種検定試験や高大連携を実施し、生徒の進路実現に向けて指導をしている。	2.2	2.6	3.0	2.3	これまで以上に各種検定試験の受験を呼びかけるようにする。来年度は、大阪青山大学との連携を積極的に推進することによって、生徒の進路実現に向けて様々な情報を提供していくようにする。
基本的生活習慣と規範意識の確立	基本的生活習慣と規範意識の確立を目指す。生徒一人ひとりが社会の一員として道徳性に富み、豊かな自己表現が図れるよう支援する。	学年・教科・生徒指導・教務・保健	⑭ 生徒に健康管理や時間管理に留意させ、欠席・遅刻をしない生活態度を確立するよう指導をしている。	3.3	3.1	2.6	3.2	ミマモルメを導入して3年目になり、保護者からの遅刻・欠席の連絡を早期に把握することで、各生徒や保護者に対してより適切な対応ができていている。
		学年・教科・生徒指導・教務・進路指導	⑮ 生徒が挨拶や言葉遣いなど、場に応じた言動ができるように指導をしている。	3.3	2.9	2.4	3.2	学年集会や全校集会はもちろん、日々の学校生活において機会があるごとに学校や社会のルールを守ることに触れ、規範意識を高めるよう努めた。
		学年・総務・生徒指導・教務	⑯ 教室の清掃、身の回りの整理整頓を行い学習環境の整備に努めている。	3.3	2.8	2.6	3.1	日常清掃活動及び大掃除において、清掃活動を実施し、学校の美化に努めた。ボランティア活動での校外清掃を実施することができた。
		学年・生徒指導	⑰ 行事やHR活動に主体的に関われるようにするとともに集団の一員である意識を高め、他者と協働する力を育てている。	3.1	2.9	2.8	3.1	各行事やHR活動において、教員主導ではなく、生徒の主体性が発揮されるように、生徒が主体的に考え行動するような機会をできるだけ持つようにした。
		生徒指導・学年・各委員会	⑱ 生徒会を中心とした各委員会活動を積極的に実施している。	3.0	2.6	2.5	2.9	生徒会執行部の生徒たちに、創立50周年記念式典行事をはじめ、学校行事などの取組について主体的に考えるように促し、彼らの意見を積極的に取り入れるなどし、生徒会執行部の主体性を尊重するようにした。
社会の変革に対する「キャリア教育」の推進	社会の大きな変革に対し、高い志を持ち、自らの課題の解決に取り組む力や円滑な人間関係を築く態度を育成する「キャリア教育」に取り組む。	進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会	⑲ 職業ガイダンスや分野別進路ガイダンスを計画的に行い、生徒が自分の人生について考える機会を与えている。	3.1	2.8	3.3	3.0	学年ごとに応じた進路ホームルームやガイダンス等を定期的に行い、生徒の進路に対する意識を高め、主体的な進路選択ができるよう支援することができた。
		進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会	⑳ 仕事(職業)を通して地域や国際社会に貢献する意識付けを行っている。	2.9	2.6	3.0	2.8	今年度もインターンシップを実施することができ、生徒が仕事や地域に対する理解を深めることができた。また、オーストラリア姉妹校との交流をした生徒たちが、全校生徒の前でその経験を報告し、国際社会に貢献する意識付けの一助となった。
		進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会・体育祭実行委員会・特色類型委員会	㉑ 学年縦割りグループ(ブロック演技・特色類型の活動)を編成し、生徒が主体的な活動を行っている。	3.1	2.7	3.4	3.0	体育祭や文化祭において、例年通り実施することができた。また、行事を通して縦のつながりも深めることができた。また分教室の生徒とも交流を深めることができた。
		進路指導・学年・総合的な探究の時間委員会	㉒ 手帳やポートフォリオなどを活用し、生徒自らが活動の行動計画を立て、省察を行っている。	2.6	2.1	2.0	2.5	手帳の活用を呼びかけ、提出物や行事、締切日等の日時を記録するように促した。今後は、生徒がさらに行動計画を立てられるように指導を行ってきたい。
自他の生命の尊重	自然への畏敬の念とふるさとを愛する心を育むとともに、自他の生命と人権を尊重し、ともに学び生きる心を育てる。	学年・生徒指導・人権福祉委員会	㉓ 各学年の人権教育の年間指導計画を立て、HRでの学習や全体学習を行っている。	3.0	2.6	2.6	2.9	県指定4年目になる心のサポート事業と連携し、アサーション(自己尊重のコミュニケーション活動)を実施することで、お互いを大切にし合う態度を育成することができた。来年度も引き続き人権教育の推進を図ってきたい。
		学年・生徒指導・人権福祉委員会	㉔ 普段の教育活動で人権に配慮し、道徳を重んじた指導を行っている。	3.1	2.6	2.5	3.0	普段の学校生活において、機会を見つけては人権に配慮した行動をするよう継続的に指導を行った。今後も生徒同士がお互いの人権を尊重し合うことができるよう指導を行ってきたい。
		学年・人権福祉委員会	㉕ 特別支援学校等の交流実践を通して多様な価値観を認め合う共生の心を育てている。	3.1	2.8	3.1	3.0	県立こやの里特別支援学校や県立川西カリヨンの丘特別支援学校の分教室と、文化祭や体育祭をはじめ、様々な行事を通してお互い交流し、互いを理解し認め合う関係を築くことができた。また川西養護学校との交流も実施することができた。今後も分教室との交流をいっそう深めていきたい。
		学年・人権福祉委員会	㉖ 特別支援学校と連携して特別支援教育研修を行い支援が必要な生徒の支援計画を立てている。	3.1	2.7	3.1	3.0	来年度も、県立こやの里特別支援学校・県立川西カリヨンの丘特別支援学校の分教室の教員と本校教員が交流を深め、互いを理解し尊重できる関係を築き、分教室の教員から特別支援教育について学ぶことによって、配慮を必要とする生徒の指導に活かしたい。